



KSKQ 萌風香 2022 年度 夏号

誰もが生き活きと
自分らしく暮らせる
心豊かな社会を
創造します。

社会福祉法人萌 広報紙 NO.77 2022.7.17 編集人 社会福祉法人萌 定価 150 円
〒630-0256 奈良県生駒市本町 7-14 ブルームビル2階 ひだまり内 TEL 0743-85-4196

一人暮らしを始める方を応援！ ご存じですか？「自立生活援助」

一人暮らしをしようと思った時。しなければいけない状況になった時。あなたは安心して新生活を始められますか？しなければならぬことの多さに不安に感じ、戸惑う人は多いと思います。

そんな時に利用できる「自立生活援助」という事業があります。2018年に障害当事者が望む地域生活の支援を促進するためのサービスとして創設され、萌では2020年8月から始めています。

支援者が週に1回程度定期的に、訪問して支援を行います。住居の環境整備や人間関係、金銭管理、過ごし方など生活全般における困りごとの相談。手続きや買い物などに同行するなど、一人ひとりの生活の場に伺い必要な支援を届けます。

対象は精神科病院やグループホームなどの施設から地域で一人暮らしを始める人やこれまで地域で生活していたが同居・近隣に住んでいた家族が亡くなる、施設に入所するなど人間関係や環境の変化があり、一人暮らしをする人や一人暮らしをしていた人です。

期間は1年間。市町村で必要が認められる場合は延長して利用することができます。

「どないですか？」「市役所からようわからん封筒届いたんですが」「確認しに今から窓口と一緒に行きましょか？」福祉サービス事業所で働くAさんのアパート訪問時の一幕。

話すだけの時もあれば、心配事の解決のために市役所や病院などに同行したり、服や食材を買いに

出かけることもあります。

また、当初から生活費を抑えたい希望のあったAさん。1ヵ月にかかる費用と一緒に確認しました。すると携帯電話代が高い！すぐに店に行き、料金プランなどを変更。3分の1程度に出費を抑えることができました。

「実際に暮らしてみても一人でできないことがある

など実感した。来てもらえることで自分のモチベーションが上がり、できるようになったことがある」とBさん。

「ずっと一人でいると気持ちがしんどくなる。

支援者が来るのは新しい風が入ってきていい。多いと(正直)しんどい。来る時は生活がビシッとメリハリがつく」と話すのは初めて一人暮らしをするCさんです。

訪問日は利用者の事情に合わせ、柔軟かつ早めの対応。地域の中で孤立せず、安心感を持って、自分が望む生活ができるようサポートしています。

現在は4人の利用ですが、法人内で行った調査からも高齢化、一人暮らしへの移行は進んでおり、さらにニーズは増えていきます。

新生活を支えるため、地域の中によりきめ細やかなネットワークを築き、その支援を切れ目なく継続していくことが今後求められています。

【事業担当：黒田昌平・丸山拓史】



Bさんの部屋 こだわりのモノに囲まれて

四徒然

社会福祉法人萌

理事長 吉川郁子

障害者、高齢者の福祉施設や、精神科病院における虐待事件の報道が後を絶ちません。

現在の障害者虐待防止法では、保育所、学校、医療機関において虐待が行われていても通報の義務はありません。立場の弱い人こそ守られる仕組みが必要であるのに不思議に思います。

一方で、通報義務のある福祉施設であっても虐待の実態は外部から分かりづらく、発覚が遅れることも大きな問題です。

厚生労働省では、精神科医療機関での患者への虐待を早期に発見するための法制化が議論され、発生防止や早期発見の取組強化などが検討されています。

意思表示ができない人への虐待防止の仕組みが一日も早く整い、時には長い期間過すことになる施設が安心できる場となることを心から願います。

生 駒 エ リ ア

生活支援センターコスモールいこま	0743-73-7000	地域活動支援センターコスモールいこま	0743-73-0900
ひだまり	0743-85-4196	コミュニティスペースはなな	0743-73-1050
グループホーム楽都	0743-73-0141		



座談会形式で楽しく語り合いました。

ついに完成!～映画「そのこえ」～

昨年9月にひだまり、地域活動支援センターコスモールいこまに映画スタッフが来て撮影した、短編映画「そのこえ」が完成。5月1日の試写会には、2回上映で300人を超える来場者がありました。

そこで、映画出演した利用者みなさんに、映画を見た感想や撮影時の様子を語りあってもらいました。

最初に映画を見ての感想を。いかがでしたか?

藤原智治さん(以下、智):この映画の価値が出てきた時(〇〇国際映画祭?地上波で放送?)に、僕たち出演者の価値も出てくるのでは?どれくらいの知名度が出るのかわからんけど、楽しみですわ。

藤井互さん(以下、互):映像の美しさに感動!場面緘黙症については知らなかったけど理解が深まったというか勉強になりました。

かよちゃん(以下、か):最後のシーン、主人公の小さな声での挨拶のところは、人間って変わるんだなあとって。

池村修司さん(以下、修):主人公が変われるまでの葛藤が丁寧に描かれていたなあ、変わった最後の場面での相手の反応が意外でしたが印象的。

大きなスクリーンに映るご自分はどうでしたか?

新垣博之さん(以下、博):横顔がいい感じでした。教科書に出てくる正岡子規風(笑)

修:改めて太ってるわ～、目つきも悪いし(笑)。顔が大きく見えた?

智:ギター弾きましたけど完璧にはできませんでした。カットされて短くなっていましたけど、映画バージョンになっていて、編集技術がすごいなと。

修:あの場面のBGM風になって良かったよ。

互:この年になってもまだいけるなあ(笑)うまいこと撮ってくれて、俺の良さを引き出してくれたというか。

か:いつも通りになって、店でのレジの場面あれで良かったのかなあ?

試写会のトークショーに出演した感想は?

互:緊張したけど言いたいことは言えた。

修:緊張しました。映画が終わって休憩時間に呼ばれて席を立てから頭の中がグルグルして。観客席なんて見られませんでした。

博:登壇する時や座る所作は実は隣を見ながらドキドキでした。

修:終わって解放された感じ。監督さんも自分で「緊張しています」って言っていましたね(笑)。

博:そのわりにはスラスラ話していたけどね。主人公のふう君も撮影時は役に入り込んでいて休憩時間もだまっていたから、トークショーで話す姿に「こんな声やったんやー」と思って。(笑)

映画を見たご家族の反応は?

か:お母さんに「声が良かった」って言われました。あと、パンを買いに来たお客さんに「映画見たわよ」と言われて嬉しかったです。

最後に映画撮影に参加してみたいの思いをどうぞ。

互:生駒にあれだけの人が集まって、成功して、これから世界に飛び出すそうで、期待できる。試写会前の取材でNHKにも出てありがたかった。ただのエキストラなのに声をかけてもらって嬉しかった。

博:「のびしろ」ありますね。どんどん自分も有名になっていきたい。

智:最初は映画撮影?ふーん、って感じてはいたけど、だんだん現実味が出てきて、ギターできひんかな、と急に思い立ったことなのに、実現したのでいい経験になりました。

次は・・・流行りの特撮映画?ピアサポートをテーマに?などと話が尽きない座談会となりました。

郡 山 エ リ ア

生活支援センターふらっと	0743-54-8112	地域活動支援センターふらっと	0743-54-3977
ふれあい工房	0743-54-6701	彩食キッチンBon	0743-58-5572
グループホームもえぎ館	0743-85-4112		

安心して暮らせる地域を目指して ～にも包括ワーキンググループ始動～

大和郡山市の地域自立支援協議会に、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築（通称：にも包括）について協議するワーキンググループが発足し、4月から始動しています。

精神保健福祉分野に留まらず、多分野の専門職が参加し、地域課題について話し合っています。

今回はワーキンググループの一員であり、にも包括の地域密着アドバイザーでもある、やまと精神医療センター地域医療連携室の前田智（まえだとも）さんに、大和郡山市で進めるにも包括についてお話を伺いました！

○大和郡山市の課題

前田さんの感じる課題は、第一に、住まいの確保。入院患者の退院先や、現在ご両親と同居中の方の親亡き後など、住まいが必要となるケースは多くあります。

次に、精神障害に対する偏見。一人暮らしを希望する当事者が、家を借りられなかったり、精神科以外の病棟への入院を断られたりすることがあるそうです。

前田さんは、そんな現状に対して、精神障害について知ってもらうために外部向けの研修会を実施しています。

「なんとなく精神障害についてイメージを持ってもらえているように感じる」と開催する中での変化を語られました。

○大和郡山市の強み

逆に大和郡山市の強みは、ズバリ支援者の顔が見えやすいこと。

お互いを知っているからこそ相談しやすく、物事が素早く動いていきます。

ワーキンググループでは、より顔の見える関係性を作っていくことが期待されています。

○大和郡山市の今後

現在、認知症のアウトリーチ事業に参加している前田さんは、精神保健福祉分野でもぜひアウトリーチ事業に取り組みたいとのこと。

また、ピアサポーターについても、将来的に活用していきたいと話されました。

○最後に

「入院はゴールではなく、始まり。入院の時点から退院支援が始まっている。だからこそ、地域全体で協働していかなければならない。病院や福祉事業所、訪問看護など、それぞれで見えている世界が違うため、それぞれの視点を教えてもらう必要がある。」と、前田さん。

郡山エリアでも、福祉事業所としての視点から課題や取り組みを検討しつつ、ワーキンググループを通して、障害のあるなしに関係なく、地域全体で協働できる関係性を築いていきたいと思います。

スポーツ体験に参加しました

大和郡山市心身障害者連絡協議会の主催で「障害者スポーツ体験」が開催され、地域活動支援センターふらっとからも参加しました。

競技内容はレクボッチャ。指導員さんにボールの持ち方から教わります。

本番では、接戦が続きます！集中力が切れてくると、なかなか思ったところにボールが行かない時も。

それでも、「また参加したい」や「いい日曜日になったわ」など、心地よい疲れとともに笑顔がこぼれました。



試合終わりに記念撮影♪

西 和 エ リ ア

生活支援センター・ぼると・ベル 0745-43-5541 地域活動支援センター・まーぶる 0745-75-6545

らそら 0745-70-1577 グループホーム彩友館 0745-43-9333

昭和町自治会 「美化キャンペーン」に参加

5月のとある日曜日。グループホーム彩友館で暮らす皆さんとともに昭和町自治会の美化キャンペーンに参加しました。

昨年から自治会の班長を担っている西和エリア。今回の活動では、お茶と清掃セットを各世帯へ配りました。軍手とゴミ袋、土嚢袋を手に清掃スタート!! 重たい鉄板をあげて、側溝にたまった泥や砂を取り除きます。これがなかなかの重労働・・・。「一緒に土嚢持っていきませんか?」「次、鍬借りても良い?」と同じ班の皆さんと協力しながら爽やかな汗を流しました。

班長には、他にも総会の準備や回覧板を回すなどの役割があり、班長を担うことで、地域で暮らす人たちと交流する機会が自然と増えています。



側溝に入ると、太ももぐらいまでスッポリ隠れちゃいます! 深い～!

ともに学び合いたい、 分野を超えて

ぼるとベルは5月17日、「精神障がいがある方へのかかわり」というテーマで講師を務めました。

この研修は、河合町地域包括支援センター主催で、ケアマネージャーや高齢者施設で働く職員を対象です。

当日はオンラインで開催。約 40 人の参加がありました。事前アンケートではたくさんの質問があり、内容からも皆さんの熱心さが伺えました。

高齢と障害で分野は分かれています、困ったときに気軽に相談してもらえるよう、つながりを大事にしていきたいです。

かたちを変えて、再始動!! ～ハートランドしぎさんとの交流会～

西和7町障害者等支援協議会 暮らし部会(主に長期入院解消が目的)の取り組みの1つである、ハートランドしぎさんと、まーぶる・ぼるとベルとの交流会が2022年3月から再開しました。

これまでは、対面で職種問わず幅広い職員向けに障害福祉サービスなどの説明をしてきました。

しかし、新型コロナウイルスの影響で対面での実施が難しくなり、コロナ禍でもできる方法を模索。オンラインで実施できるようになりました。



皆さん熱心に聴いてくださっています

企画するにあたって、「せっかくのオンラインだから、実際に施設を見てもらいたい」と考え、説明に加えて、グループホーム彩友館の試泊ルーム(※)見学をセットにして、オンライン交流会を実施しました。

月1回ペースでこれまで3回実施し、延べ15人の参加がありました。

試泊ルームを知らない方も多く、質疑の場面では「1泊2日の利用料は?」など具体的な質問がたくさんありました。

入院している方々が、少しでも安心して退院してもらえるよう、障害福祉サービスや西和7町の情報を病院にお届けすることが、私たちが今できることだと考えています。

制限がある中での活動で、思うようにいかないこともあります。有意義な時間、実りある時間、繋がれる時間になるよう、試行錯誤しながら企画・実施していきたいです。

※試泊ルームとは1人暮らし体験ができる場です。ワンルームタイプのお部屋で、テレビや寝具は用意しています。

社会福祉法人 萌 2021年度決算報告資料

法人単位 資金収支計算書 (2021/4/1~2022/3/31)

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	81,733,000	85,273,889	▲ 3,540,889
		障害福祉サービス等事業収入	556,612,000	565,581,235	▲ 8,969,235
		事業収入	20,376,000	20,441,139	▲ 65,139
		寄附金収入	812,000	692,000	120,000
		受取利息配当金収入	45,000	45,142	▲ 142
		雑収入	837,000	1,935,212	▲ 1,098,212
	事業活動収入計(1)		660,415,000	673,968,617	▲ 13,553,617
	支出	人件費支出	465,334,000	468,841,960	▲ 3,507,960
		事業費支出	42,432,000	42,113,143	318,857
		事務費支出	37,665,000	36,506,072	1,158,928
就労支援事業支出		74,382,000	81,377,217	▲ 6,995,217	
支払利息支出		125,000	173,264	▲ 48,264	
事業活動支出計(2)		619,938,000	629,011,656	▲ 9,073,656	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		40,477,000	44,956,961	▲ 4,479,961	
施設整備等による収支	収入	固定資産売却収入	0	20,000	▲ 20,000
		施設整備等収入計(4)	0	20,000	▲ 20,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	7,960,000	7,960,000	0
		固定資産取得支出	2,722,000	2,225,310	496,690
	施設整備等支出計(5)		10,682,000	10,185,310	496,690
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		▲ 10,682,000	▲ 10,165,310	▲ 516,690	
その他の活動による収支	収入	その他の活動による収入	0	0	0
		その他の活動収入計(7)	0	0	0
	支出	積立資産支出	18,000,000	18,000,000	0
		その他の活動による支出	0	0	0
	その他の活動支出計(8)		18,000,000	18,000,000	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		▲ 18,000,000	▲ 18,000,000	0
	予備費支出(10)		3,000,000		3,000,000
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		8,795,000	16,791,651	▲ 7,996,651
前期末支払資金残高(12)		181,640,000	181,639,541	459	
当期末支払資金残高(11)+(12)		190,435,000	198,431,192	▲ 7,996,192	

法人単位 事業活動計算書 (2021/4/1~2022/3/31)

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	85,273,889	81,789,076	3,484,813
		障害福祉サービス等事業収益	565,581,235	549,051,183	16,530,052
		事業収益	20,441,139	22,422,540	▲ 1,981,401
		寄附金収益	692,000	734,310	▲ 42,310
		雑収益	1,935,212	8,507,190	▲ 6,571,978
	サービス活動収益計(1)		673,923,475	662,504,299	11,419,176
	費用	人件費	468,841,960	453,681,768	15,160,192
		事業費	42,113,143	44,722,223	▲ 2,609,080
		事務費	36,506,072	31,248,702	5,257,370
		就労支援事業費用	81,377,217	75,316,567	6,060,650
		減価償却費	26,491,853	27,341,629	▲ 849,776
		国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 8,227,079	▲ 8,345,346	118,267
		徴収不能額	0	8,016	▲ 8,016
	サービス活動費用計(2)		647,103,166	623,973,559	23,129,607
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		26,820,309	38,530,740	▲ 11,710,431	
サービス活動増減の部	収益	受取利息配当金収益	45,142	326,242	▲ 281,100
		サービス活動外収益計(4)	45,142	326,242	▲ 281,100
	費用	支払利息	173,264	231,480	▲ 58,216
		サービス活動外費用計(5)	173,264	231,480	▲ 58,216
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	▲ 128,122	94,762	▲ 222,884
経常増減差額(7)=(3)+(6)		26,692,187	38,625,502	▲ 11,933,315	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	119,390	▲ 119,390
		固定資産売却益	19,999	0	19,999
		特別収益計(8)	19,999	119,390	▲ 99,391
	費用	固定資産除却損	486,157	0	486,157
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	▲ 105,383	0	▲ 105,383
		国庫補助金等特別積立金積立額	0	119,390	▲ 119,390
		特別費用計(9)	380,774	119,390	261,384
特別増減差額(10)=(8)-(9)		▲ 360,775	0	▲ 360,775	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		26,331,412	38,625,502	▲ 12,294,090	
繰越活動増減の部	前期繰越活動増減差額(12)		500,649,043	508,023,541	▲ 7,374,498
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		526,980,455	546,649,043	▲ 19,668,588
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		0	0	0
	その他の積立金積立額(16)		18,000,000	46,000,000	▲ 28,000,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		508,980,455	500,649,043	8,331,412

法人単位 貸借対照表 (2022/3/31現在)

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産				流動負債			
現金預金	241,311,790	223,538,256	17,773,534	買掛金	1,063,153	911,210	151,943
売掛金	119,606,732	96,432,499	23,174,233	未払金	28,528,612	27,691,275	837,337
未収金国保連	1,964,288	2,364,523	▲ 400,235	1年以内返済予定			
未収金利用者	64,932,384	65,546,877	▲ 614,493	施設整備資金借入金	7,795,000	7,960,000	▲ 165,000
未収金その他	345,948	170,848	175,100	預り金所得税	1,034,937	977,501	57,436
未収補助金	2,274,982	2,373,176	▲ 98,194	預り金住民税	905,800	866,000	39,800
貯蔵品	48,112,652	51,562,763	▲ 3,450,111	預り金社会保険	10,776,556	10,883,770	▲ 107,214
立替金	1,918,620	1,859,853	58,767	預り金雇用保険	571,540	568,959	2,581
前払金	40,019	31,086	8,933	固定負債	16,280,000	24,075,000	▲ 7,795,000
出資金	2,066,165	3,146,631	▲ 1,080,466	設備資金借入金	16,280,000	24,075,000	▲ 7,795,000
	50,000	50,000	0	負債の部合計	66,955,598	73,933,715	▲ 6,978,117
固定資産	674,069,303	680,822,004	▲ 6,752,701	純 資 産 の 部			
基本資産				基本金	34,289,196	34,289,196	0
土地	421,283,674	435,223,969	▲ 13,940,295	第1号基本金	31,739,196	31,739,196	0
建物	171,379,216	171,379,216	0	第2号基本金	2,550,000	2,550,000	0
その他の固定資産	249,904,458	263,844,753	▲ 13,940,295	国庫補助金等特別積立金	103,369,544	111,702,006	▲ 8,332,462
構築物	252,785,629	245,598,035	7,187,594	国庫補助金等特別積立金	103,369,544	111,702,006	▲ 8,332,462
車両運搬具	41,442,745	49,432,410	▲ 7,989,665	その他の積立金	201,786,300	183,786,300	18,000,000
器具及び備品	2,830,295	2,770,341	59,954	建物減価償却積立金	131,000,000	119,000,000	12,000,000
権利	5,455,191	8,337,886	▲ 2,882,695	施設・設備整備積立金	57,786,300	54,786,300	3,000,000
建物減価償却積立預金	1,271,098	1,271,098	0	災害時等運営資金積立金	13,000,000	10,000,000	3,000,000
施設・設備整備積立預金	131,000,000	119,000,000	12,000,000	次期繰越活動増減差額	508,980,455	500,649,043	8,331,412
災害時等運営資金	57,786,300	54,786,300	3,000,000	(うち当期活動増減差額)	26,331,412	38,625,502	▲ 12,294,090
積立金積立預金				純資産の部合計	848,425,495	830,426,545	17,998,950
資産の部合計	13,000,000	10,000,000	3,000,000	負債及び純資産の部合計	915,381,093	904,360,260	11,020,833
	915,381,093	904,360,260	11,020,833				

高田 エ リ ア

生活支援センターなっつ	0745-23-7214	地域活動支援センターなっつ	0745-23-8105
マインドホーム高田	0745-23-8072	おかわり	0745-23-5625
えいぶる	0745-52-5752	あっとほーむ香芝	0745-44-8023

まちとのつながり活かして啓発活動 ～3年ぶりに「おかげ祭り」が開催～

片塩商店街で年に2回行われていた「おかげ祭り」が3年ぶりに実施され、高田エリアからはバザーを出店しました。

高田エリアでは毎年「まちフェス」というイベントを実施しており、その中でバザーを行なってきました。しかし、新型コロナウイルスの影響で「まちフェス」自体の開催が中止になる年が続いています。

そんな中でも「まちフェス」に協力くださる関係機関の皆さんは「いつかまちフェスが再開する日のために」とバザー品を集め続けており、いつでも出品できるよう包装した状態で保管してくださっていました。

この動きを受けて、たくさん集まった品物を何かに活用できないか、と検討した結果、精神障害のことや社会福祉法人萌の活動をもっと地域の人に知ってもらうことを目的に、おかげ祭りでバザーを出店することになりました。

片塩商店街にはおかわりの「なごみカフェ」があり商店街の一員として活動しています。

「まちフェス」は商店街の皆さんの協力があって年々大きなイベントとなりました。「まちフェス」の中止が続いてはいますが、今回のおかげ祭への出店の際も快く出店スペースを作ってもらうことができました。

「おかげ祭り」は2日間にわたって行われました。バザーの出店の準備をしている段階からお客さんだけでなくお店の人にも興味を持って頂きました。

病気のことや自分たちの活動のことをもっと知ってもらうためにパンフレットも作成し、商品と一緒に渡しました。パンフレットを通して「商店街の人やと思ってたわ」「こういう活動してるんやね」と声をかけてもらえることもありました。



「おかげ祭り」に参加した職員



2日間ともに盛況でした

「まちフェス」が開催できない年が続いてきましたが、これまで培ってきた地域とのつながりのおかげで、私たちの活動をより多くの人に知ってもらうことができました。

今後もまちの人たちとのつながりを続け、精神障害や社会福祉法人萌の活動を知ってもらえるよう活動していきます。

誰もが暮らしやすい社会を目指して ～香芝市社会福祉法人連絡会が始動～

香芝市社会福祉法人連絡会が5月25日に設立しました。

近年「引きこもり」「老老介護」「ヤングケアラー」といった新しい課題が出てきています。それらの課題に対して、障害者、子ども、高齢者分野で活動する同市13の社会福祉法人が連携して、誰もが安心して暮らせる地域共生社会を実現し、地域生活課題を予防、解決していくことを目指します。

事務局は社会福祉協議会が担います。設立総会に出席したあっとほーむ香芝の堀川有所長は「香芝市の地域福祉のために多くの法人が連携し合える機会となるのが嬉しい。地域の課題を多様な視点から考察し、地域に必要とされる活動を行っていきたい」と話します。

今年度の事業計画は地域公益活動部会、人材発掘・育成部会、広報・情報共有部会の3部会からなり、最初の活動としてフードドライブ（緊急食料支援）事業を実施する予定です。

読売新聞奈良県版にも連絡会についての記事が掲載されるなど、今後の活動にも注目が集まっています。

檀 原 エ リ ア

生活支援センターぴあぼ〜と	0744-24-2020	地域活動支援センターぴあぼ〜と	0744-24-2070
生活支援センターいろは	0744-32-7753	ひなた舎	0744-32-7745
P i t 八木	0744-21-5666	グループホーム南	0744-24-2050

なんと素敵平城京！

〜Pit 八木 歴史探訪 平城宮跡を歩く〜



復元事業はこれからも続くそうです!!

初夏の陽気を感じつつ、5月の下旬に平城宮跡に行ってきました。出発まで小雨が降り続いていましたが、電車に乗り大和西大寺へ向かうにつれて晴れ間が見えてきました。「晴れてくれて良かった。」とみんなの顔が少しほっとしました。

まず、ならファミリーのフードコートで昼食を。お腹も満たされ、いざ平城宮跡へ。平城宮跡の広大な敷地には朱雀門、大極門、第一大極殿の3つの大きな建物が!!遠くから見ても立派ですが、近づくと圧巻の迫力!!広い敷地内を歩くのは大変でしたが、休憩を挟みながら3カ所すべてを見て回ることができました。

朱雀門広場にある『平城宮いざない館』の中も見学。平城京に住んでいた人々の暮らしや建物がどのようにできたのかが模型や映像で分かりやすく解説されていました。

歴史を学んだあとは、隣の『天平うまし館』のカフェでアイスクリームを食べて疲れを癒しました。

最後に、復元された遣唐使船に乗って遣唐使気分を味わい、奈良時代に想いをはせました。「普段はなかなか行けない場所に行けて良かった。」「1万歩も歩いていました!」と電車の中で話をしながら帰りました。

次は何歩あるのかな〜♪これからも感染対策は忘れず、どんどん出かけて行きたいです。

梅雨に負けずスポーツレク!!

ぴあぼ〜とでは、コロナも少し落ち着き、「そろそろ身体を動かしたい。」「外でスポーツしたいなー。」という声が上ががり、檀原市内にある曾我川緑地体育館にスポーツレクに行ってきました。

梅雨時期で少し蒸し暑い中でしたが、水分補給タイムを入れながら、卓球やバドミントンをしました。

隣のコートでは、高齢者の卓球チームや、バレーボールチームが元気に練習をしているのを見て、刺激を受け、みんなは、いつもより気分は上々♪

卓球では、職員と利用者でダブルスを組み、ラリーをしました。練習をするうちに、以前よりも、楽しく長〜いラリーができるようになり、笑い声と汗が途切れません。

バドミントンは、久しぶりでしたが、ラケットを握ると、感覚が戻ってきて、ついつい力を入れ過ぎて、シャトルを2階まで飛ばしてみたり・・・我を忘れて夢中で、みんなで、リフレッシュしました。

「体育館借りて、スポーツすると新鮮だね。」「周りのチームに刺激をいっぱいもらったね。」とわいわい話しながら、休憩しながらほっこり。

サロンとはまた違った、熱気あふれる体育館での雰囲気味わいながら、爽やかにいい汗をかいて、気持ちも身体もすっきりしました!

檀原市には、曾我川緑地体育館という身近にスポーツ施設があるので、また、涼しい秋に企画して、



広々とした体育館でのダブルス戦☆

楽しみたいと思います。

2021年度の法人決算報告 ※別紙「決算書」をご参照ください。

資金収支計算書

2021年度の事業活動収入は予算比+1,355 万円の6億 7,396 万円。就労支援事業活動収入（授産活動の売り上げ）、障害福祉サービス収入が想定を上回ったことが要因です。事業活動支出は予算比+907 万円の6億 2,901 万円。給与改定による人件費支出の増加、法人独自のコロナ慰労金支給、材料費等の値上げによる支出の増加が影響しています。結果、事業活動収支差額は予算比+448 万円の 4,496 万円となりました。

施設整備等につきましては、老朽化した車両売却による2万円の収入、車両2台の購入と借入金返済による 1,019 万円の支出となりました。また将来、所有物件の建替えや修繕に必要となる積立金 1,200 万円、車両や機器などの買替に必要な積立金 300 万円、災害時や運営資金逼迫時のための積立金 300 万円の積立をしました。

	予算	決算	差異
事業活動収入計	660,415	673,969	▲ 13,554
事業活動支出計	619,938	629,012	▲ 9,074
事業活動資金収支差額	40,477	44,957	▲ 4,480
施設整備等収入計	0	20	▲ 20
施設整備等支出計	10,682	10,185	497
施設整備等資金収支差額	▲ 10,682	▲ 10,165	▲ 517
その他の活動収入計	0	0	0
その他の活動支出計	18,000	18,000	0
その他の活動資金収支差額	▲ 18,000	▲ 18,000	0
予備費支出	3,000	0	3,000
当期資金収支差額合計	8,795	16,792	▲ 7,997

事業活動計算書

サービス活動収益は6億 7,292 万円となり、前年度と比べ 1,142 万円の増となりました。前述の通り、就労支援事業活動の売り上げ、サービス利用数や加算算定による増加が要因となります。サービス活動費用は6億 4,710 万円、前年度より 2,313 万円の増加。職員の処遇改善や最低賃金の改定による人件費増、法人独自コロナ慰労金支給、材料費など値上がりによる経費増が要因です。結果、経常増減差額は 2,669 万円と、前年より 1,193 万円の減少となりました。

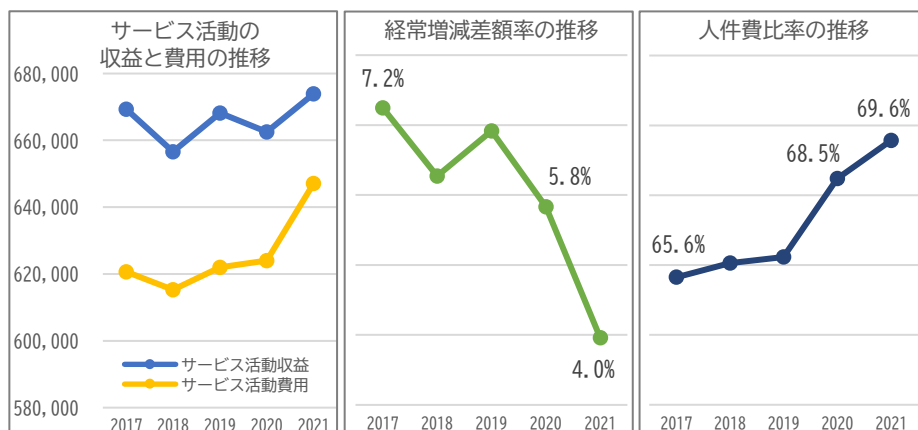
	当年度決算	前年度決算	増減
サービス活動収益計	673,923	662,504	11,419
サービス活動費用計	647,103	623,974	23,130
サービス活動増減差額	26,820	38,531	▲ 11,710
サービス活動外収益計	45	326	▲ 281
サービス活動外費用計	173	231	▲ 58
サービス活動外増減差額	▲ 128	95	▲ 223
経常増減差額	26,692	38,626	▲ 11,933
特別収益計	20	119	▲ 99
特別費用計	381	119	261
特別増減差額	▲ 361	0	▲ 361
当期活動増減差額	26,331	38,626	▲ 12,294

財務状況について

2022年3月末時点においては、短期的にも長期的にも大きな問題のない財務状況となっています。経常増減差額率 4.0%であり、事業としての採算性が取れています。しかしながら、徐々に減少している状況です。2017年度から事業活動による収益が横ばいの傾向、事業活動の費用は増加傾向にあります。

2018年度から職員の処遇改善を進めてきたこともあり人件費は増加しており、今回の決算では人件費比率 69.6%となっています。人件費比率が上がることは悪いことではありませんが、人件費以外に経費が掛けにくくなり、事業活動や業務に支障が出てくる恐れがあります。

その他、将来的に必要な建物などの固定資産の買替や修繕にかかる積立金の積立額は、現時点で積み立てておくべき額より少ない状態となっています。これからは萌の事業活動の充実や展開を見据えた費用の掛け方、収益増の取り組みを再考していく必要があります。（総務部 出口裕生）



さくらんぼ便り

ホームヘルプステーションさくらんぼ
0743-54-0800

ライク通信

なら西和障害者就業・生活支援センターライク
0743-85-7702

よりよい実践を目指して

さくらんぼでは、ヘルパー全体会で虐待防止についての研修を行いました。

感染対策に関して、5月30日(月)と6月1日(水)の2回に分け、法人職員向けの研修動画を抜粋視聴した後、具体例を挙げて何が虐待に当たるのかを改めて確認しました。

また、虐待に至らずとも、不適切な関わり方をしているか各自の支援を振り返りました。

ホームヘルプは、第三者の目が届きづらい状況での個別支援なので、まず虐待を正しく「知る」ことが重要と考え、今回は気づきを目的に学びました。

今後は、何が原因なのか、防ぐにはどうすれば良いのか等を毎月のエリア別ヘルパー会議で理解を深めていきます。

誰もが働きやすい社会を目指して

現在の障害者雇用施策の柱として「障害者雇用率制度」と呼ばれるものがあります。

これは企業などに一定割合の障害者を雇用することを義務付けるもので、現状は週 20 時間以上の雇用契約を結ぶことが雇用率算定の要件となります。

この制度は多くの方の働く機会を生み出した一方で、特に精神疾患を持つ方にとっては高いハードルになっています。

昨今、要件を週 20 時間未満の就労に緩和することも含めて多様な働き方の検討が進み、さらなる活躍の場の広がりが期待されます。

ライクでは、障害のある方一人ひとりの「はたらく」を後押しできるよう、先進的な取り組みの勉強会や視察を通じて職員のスキルアップを図ります。



★萌風香の購読★

萌風香は年 4 回 1500 部ずつの発行です。皆様のお手元に届いた後、萌のサービス利用者以外の方で「引越して住所が変わった(住所変更)」「次からは送ってもらわなくても結構です(購読中止)」という場合、お手数ですが必ず萌風香編集部ひだまり(0743-85-4196)までご一報くださいますようよろしくお願いします。

▽萌 後援会からのご案内

萌後援会は「社会福祉法人萌」の活動を支援していただける皆様に募集しております。

主な目的は法人事業の支援や寄付を行なっています。

会費の納入及び寄付の受付口座は郵便振替 社会福祉法人萌後援会
00920-4-221824

後援会事務局(萌総務部内)
0743-54-0821(大東)

▽ハートフルこおりやま
精神障害者の社会参加をすすめる会

「障がいのあるなしに関わらず、誰もが住みやすい街づくり」をすすめる当会では、会の趣旨に賛同頂き、活動に協力して下さる会員さん・ボランティアさんを大募集しています!!年会費は1口 500 円(2 口からお願いします)です。

連絡先:会事務局 ふらっと内
0743-54-3977(桑原)

▽ひだまりクローバー
生駒精神障がい者後援会

生駒市の施設を利用する精神障害者への財政的支援(交通費など)と、啓発活動(トーク&ライブひだまり、こころの市民講座など)をしています。

年会費 一口2000円から。

新規会員募集中!

連絡先:コミュニティスペースはな内
0743-73-1050(佐藤)

▽地域家族会の情報 新型コロナウイルスの影響で、各例会の開催が中止・延期など変更されています。
詳しくは、下記の各団体・お問い合わせ先にご確認ください。

詳細は まほろば会(NPO 奈良県精神障害者家族会連合会)

TEL:090-9213-2731 FAX:0742-51-5506 <https://nijironokaze.jimdo.com/>

名称	月例会	時間	場所	問い合わせ先	電話番号
さくら会 (大和郡山市周辺)	第3日曜日	13:30~	三の丸会館	会長関野	0743-54-6375
ひだまり会 (生駒市周辺)	第3土曜日	13:30~	市民活動推進センター らぽーと	会長上村京子	0743-78-0885
西和家族会 (西和7町周辺)	第4土曜日	13:30~	王寺町やわらぎ会館	西村	0745-74-6203
すみれ会 (大和高田市周辺)	第3日曜日	13:30~	大和高田市中央公民館	三島	090-9889-7984
のぞみ会 (橿原市周辺)	第2日曜日	13:30~	県心身障害者 福祉センター	ぴあぼ〜と	0744-24-2020